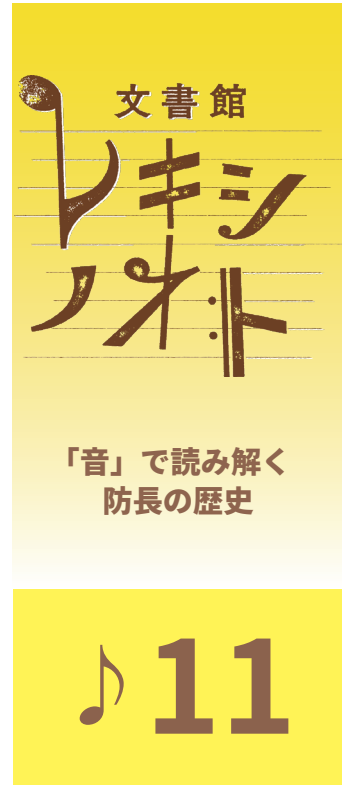




「県民の歌発表会（写真）」（広報課大型写真311）



生活ノオト③

県民歌 3 代

【現在の県民歌（昭和37年制定）】

山口県では、これまで県民歌が3度作られています（昭和15年、26年、37年）。

右は現在の山口県の県民歌です。県政施行90周年と第18回国民体育大会開催にあわせて制定されました。作詞は佐藤春夫、作曲は信時潔です。

新しい県民歌のお披露目のため、昭和38年5月24日、山口国体にあわせて新築された県立体育館において「県民の歌発表会」が行われました（写真上）。宇部市出身の歌手三鷹淳が「山口県民の歌」を歌い、その後同氏による歌唱指導も行われました。

なお、国体開催にあわせて、県民歌とともに県旗も制定されています。



グラフ山口-山口国体216

山口県民の歌

作詞 佐藤春夫

作曲 信時潔

- 1 錦帯橋はうらかに
秋吉台はさやかなり
秀麗の地に偉人出で
維新の偉業為せるかな
誇りと使命忘れめや
山口県の我らみな
- 2 周芳穴戸のいにしえを
つぎし大内毛利らが
代々の栄えの跡とめて
伝統永き文化の地
誇りと使命忘れめや
山口県の我らみな
- 3 二つの海に海の幸
地中の宝 山の富
世に捧ぐべき天然の
資源は尽きぬふるさとの
誇りと使命忘れめや
山口県の我らみな



「県民の歌発表会」（リーフレット昭和26-28）

【初代県民歌（昭和15年制定）】

昭和15年、最初の県民歌が作られました。この県民歌の制定は紀元二千六百年記念事業の一つとして計画されたもので、懸賞をかけ県民から広く歌詞が募集されました。

600編の応募がありましたが、当選に該当する作品は無く、佳作10編が選ばれました。その中の一編をもとに、内容は山口県出身の文学博士渡邊世祐が、詞は文部省唱歌の作詞者の高野辰之が加筆訂正し、歌詞を完成させました。作曲は信時潔に依頼されました（現在の県民歌の作曲者と同じ人です）。

歌詞は山口県の歴史を基調としたものとなっており、1番と2番が山口県の過去、3番が現在、4番が将来を歌っています。大陸への進出を歌う4番の歌詞からは、時代の雰囲気が伝わってきます。

山口県民歌

懸賞募集篇改潤 渡邊世祐
高野辰之 作歌
信時潔 作曲

- 1 豊浦の宮の故事しのび、
藩祖の訓代々に守りて、
百万一心結びも固く、
奉公の意気天地に満てり。
いざいざ仰げ御遺徳、
永久にかはらぬ御鏡ぞ。
- 2 幾百年の妖雲払ひ、
天日の光四海を照す、
維新の偉業翼賛の誉、
負持つ我等ぞ山口県民、
いざいざ仰げ指月山、
焦土尊王の精神を。
- 3 三面海なる天与の国土、
営む農商漁塩の外に、
新に興れる殷賑工業、
雲なす煙は二州になびく。
いざいざ仰げ水陸の、
産業文化の結ぶ実を。
- 4 西日本の玄関出でて、
指すは大陸亜細亜の空に、
共存共栄心に期して、
正しき力新しき生命、
いざいざ仰げ諸共に、
築き上ぐべき大殿堂。

【2代県民歌（昭和25年制定）】

戦前の県民歌は終戦とともに廃され、これに代わり、昭和26年に新しい県民歌が制定されました。この時も歌詞が募集され、482点の応募がありました。選考の結果、岩本邦子と清川妙による2作品が甲乙つけがたかったため、「県民歌A」・「県民歌B」として、両者ともに県民歌となりました。

歌詞に続き、曲も募集されましたが、こちらは該当作品が無く、2曲とも防府市在住の作曲家大村能章が曲を付けました。

この時期、他県でも戦前に定められていた県民歌が作り替えられていますが、共通して、「希望」、「平和」、「夢」、「光」などのキーワードが含まれています。戦後間もない時代の雰囲気が感じられます。

山口県民歌A

作詞 岩本邦子
作曲 大村能章

- 1 朝だ大気をいっぱい吸って
行こうよ野良へ工場へ海へ
働く者の郷土を作る
そうだ希望だ山口県だ
みんな一緒にがんばろう
- 2 瀬戸のうちうみ船あし軽く
長門の浦の夕日も赤い
たのしい平和な日本を作る
そうだ希望だ山口県だ
みんな一緒にがんばろう
- 3 明治維新のあの父祖達の
熱と力を今この腕で
生まれかわった世界をつくる
そうだ希望だ山口県だ
みんな一緒にがんばろう

山口県民歌B

作詞 清川 妙
作曲 大村能章

- 1 波かすむ瀬戸の島より
潮騒の北海かけて
やまかはの清けき山口
白きみかんの花咲く丘に
あかるく希望の虹はたつよ
- 2 豊かなる 山幸 海幸
こころ燃え働く人ら
あらたなり伸び行く山口
防長の名のかほる野の上
高く建設の旗がなびくよ
- 3 戦ひすてたる民の
命もて築かん楽土
夢あれよふるさと山口
あふぐみどりの山脈の空
今か平和の鐘もひびくよ

【愛唱歌】

県民歌とは別に、県の愛唱歌として、昭和38年に「のばせ山口」が、昭和54年に「みんなのふるさと」が作られました。

「のばせ山口」は橋本正之知事の作詞で、作曲は阿東町（現山口市）出身で東京音楽隊長を務めた片山正見です。

「みんなのふるさと」は、平井龍知事の進めていた「あたたかいふるさとづくり」のテーマソングとして、歌詞が募集されました。533編の中から徳山市（現周南市）の国兼由美子の作品が選ばれ、作曲は山陽町（現山陽小野田市）の田村洋がこれにあたりました（リーフレット昭和35-1）。

